

妖怪の世界を旅する主人公を描く、愉快的音楽劇

## SPAC 秋→春のシーズン#1『妖怪の国の与太郎』

“ウィズコロナ”仕様の新演出版が掛川市生涯学習センターに登場！

平素より、SPAC・静岡県舞台芸術センターに格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

毎年10月から3月にかけて、SPAC 芸術総監督・宮城聡と国内外の注目の演出家たちが、古今東西の名作を連続上演する「秋→春のシーズン」。今年度は、グランシップの大規模修繕工事による本拠地・静岡芸術劇場の休館に伴い県内各市町の文化施設で出張公演を行い、来たる11月14日(土)、掛川市生涯学習センターにて『妖怪の国の与太郎』を上演いたします。

本作は、日本の「妖怪」に魅せられたフランス人演出家ジャン・ランベール＝ヴィルドとスイス人演出家ロレンゾ・マラゲラが、2019年にSPACの俳優・スタッフたちと創作しました。死後、おかしな妖怪の世界に迷い込んだ主人公・与太郎の奇想天外な旅を、俳優たちによる楽器の生演奏も交えながら、コミカルかつ詩的に描きます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、SPACも2月以降多くの公演を中止・延期しましたが、8月、様々な状況判断のもと、本作の再演に向け稽古を開始しました。検温や稽古場内の消毒をはじめとする一般的な感染防止対策は勿論のこと、作品の演出そのものを“ウィズコロナ”仕様に変更しています。俳優同士が身体的に触れ合うシーンを無くし、それぞれのキャラクターに合わせたマスクやフェイスシールドを着用。また、台詞を発する俳優を2人に限定し、発声する位置を固定するなど、舞台上での感染対策も徹底しています。さらに渡航制限により演出家の来日が叶わないため、フランス・スイス・静岡をオンラインの会議アプリ(Zoom)で繋ぎ、リモート稽古を実施しました。なお、本作は9月30日(水)より「中高生鑑賞事業公演」を県内各地で実施しています。

SPACの“妖怪みたいな”俳優たちが全力で放つ、笑いあり涙ありの愉快的音楽劇。ご家族でお得に楽しめる「ファミリー割引」もございますので、ぜひ多くの皆様にご観劇いただきたく、ご取材のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

SPAC 秋→春のシーズン 2020-2021 #1

## 『妖怪の国の与太郎』 掛川公演

演出：ジャン・ランベール＝ヴィルド、ロレンゾ・マラゲラ

台本・翻案・ドラマツルギー：ジャン・ランベール＝ヴィルド、平野暁人、出演者ならびにワークショップ参加俳優一同

翻訳：平野暁人

音楽：ジャン＝リュック・テルミナリアス、棚川寛子

出演：大内米治、木内琴子、貴島豪、小長谷勝彦、三島景太、宮城嶋遥加、森山冬子、吉植荘一郎、渡辺敬彦 [50音順]

公演日：11月14日(土) 14:00開演 [上演時間：80分(予定)]

会場：掛川市生涯学習センター ホール

◆チケット料金[全席指定] ※未就学児入場不可。 ※割引の併用はできません。 ※その他各種割引あり。

一般：4,200円 / ペア割引：3,700円(2名様で1枚につき) / ゆうゆう割引：3,500円[満60歳以上の方]

学生割引：2,000円[大学生・専門学校生] / 1,000円[高校生以下]

★ご家族で劇場へ★

ファミリー割引：3,300円(高校生以下を同伴の大人1名につき)

◆チケット購入方法

SPACチケットセンター

TEL: 054-202-3399 (10:00~18:00・休業日を除く)

ウェブ: <https://spac.or.jp/ticket>詳細はSPAC公式サイトへ <https://spac.or.jp>

制作：SPAC・静岡県舞台芸術センター

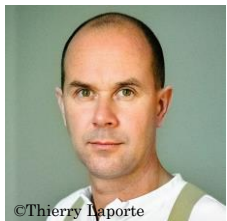
共同制作：テアトル・ドゥ・リュニオン＝リム＝ザン国立演劇センター、クロシュタン劇場(モンテー)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



©平尾正志

## ■演出家プロフィール



©Thierry Laporte

### ジャン・ランベール＝ヴィルド Jean Lambert-Wild

1972年、南インド洋に位置するフランス海外県・レユニオン島生まれ。劇作家・演出家・俳優。特異な風土で培われた詩的想像力と、魔術的演出術が高く評価され、異例の若さでフランス各地の国立演劇センターの芸術監督を歴任。SPACでは『スガンさんのやぎ』(11年)、『ジャン×Keitaの隊長退屈男』(14年)、『リチャード三世 ～道化たちの醒めない悪夢～』(18年)を上演。



©Tristan Jeanne-Valès

### ロレンゾ・マラゲラ Lorenzo Malaguerra

演出家・俳優。ジュネーヴ大学にて地理学の修士号を取得後、ジュネーヴ高等演劇学校(ESAD)で俳優としての研鑽を積む。09年、スイス・モンテーにあるクロシュタン劇場の芸術監督に就任。12年より、ランベール＝ヴィルドと創作を共にし、共同演出作品には『ゴドーを待ちながら』『リチャード三世 ～道化たちの醒めない悪夢～』のほか、『ロベルト・ズッコ』、『ドン・ジュアン あるいは石像の宴』などがある。

## ■公益財団法人静岡県舞台芸術センター(Shizuoka Performing Arts Center : SPAC)



©加藤孝

SPAC 芸術総監督  
宮城聡(みやぎ・さとし)

専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。1997年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。2007年より宮城聡が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させています。演劇の創造、上演、招聘活動以外にも、教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けています。13年、全国知事会第6回先進政策創造会議により、静岡県のSPACへの取り組みが「先進政策大賞」に選出。18年度グッドデザイン賞を受賞、無形の活動が一つのデザインとして高く評価されました。

## ■中高生鑑賞事業「SPACeSHIPげきとも！」 ※今年度は、中高生鑑賞事業公演の一般販売はございません。



SPACでは、「劇場は世界を見る窓である」という理念のもと、劇場を広義の教育の場と捉え、週末の一般公演のほか、平日は静岡県内の中高生を対象とした鑑賞事業を行っています。現在は年間約35,000人(100ステージ)を目指していますが、これは静岡県の中高生1学年の平均人数にあたります。このプランが実現すれば「静岡県の中高生は、6年間の在学時に1度はSPACを観劇できる」こととなります。中高生と引率者の鑑賞料金は無料のうえ、学校から劇場までのバスのチャーター料金をSPACが補助するなど、参加される学校に負担がかからない仕組みになっています。SPAC中高生鑑賞事業は、劇団を有する公立劇場だからこそ可能なプログラムです。世界に通用する上質の演劇作品を、ここ静岡でご覧いただける画期的な事業として、県内の学校関係者はもとより、広く全国からの注目を集めています。

2019年度 実績 公演数:76公演 / 参加校数:75校 / 鑑賞者数:10,232人

2020年度 実績・予定 公演数:60公演(予定) / 参加校数:92校(予定) / 鑑賞者数:18,881人(予定)

### #1『妖怪の国の与太郎』……9月30日(水)～12月18日(金)[全10会場・全37公演(予定)] ※緑は実施済

・浜松市雄踏文化センター	9月30日(水)14:30開演、10月1日(木)10:30 / 14:30開演、2日(金)13:30開演
・磐田市竜洋なぎの木会館	10月8日(木)・9日(金)各日13:30開演
・三島市民文化会館(ゆうゆうホール)	10月14日(水)・15日(木)各日13:30開演
・裾野市民文化センター	10月21日(水)14:00開演、22日(木)13:30開演、23日(金)10:30 / 14:30開演
・富士宮市民文化会館	10月28日(水)13:30開演
・静岡市民文化会館	11月4日(水)13:30 / 18:00開演、5日(木)10:30 / 14:30開演、6日(金)10:30 / 14:30開演
・掛川市生涯学習センター	11月12日(木)10:30 / 14:30開演、13日(金)10:30 / 14:30開演
・沼津市民文化センター	11月19日(木)10:30 / 14:15開演、11月20日(金)13:30開演
・浜松市天竜壬生ホール	11月26日(木)10:30 / 14:30開演、27日(金)13:30開演
・袋井市メロプラザ	12月10日(木)10:30 / 14:30開演、11日(金)10:30 / 14:30開演
・静岡市民文化会館	12月17日(木)10:30 / 14:30開演、18日(金)10:30 / 14:30開演

一般公演前に  
掛川でも実施

### #2『病は気から』……2021年1月14日(木)～29日(金)[全3会場・全9公演(予定)]

### #3『ハムレット』……2021年2月12日(金)～3月11日(木)[全5会場・全14公演(予定)]

SPAC秋→春のシーズン#1『妖怪の国の与太郎』掛川公演に関するお問い合わせや取材のご希望は、「SPAC-静岡県舞台芸術センター 広報担当 内田」までご連絡下さい。

Tel:054-208-4008(舞台芸術公園) / Fax:054-203-5732 / E-mail:uchida@spac.or.jp